

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7 年 3 月 28 日

事業所名 第2乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・テーブルで制作や粘土など、座って出来るスペースと、自由に遊べるスペースを分けたり、安全に気を付けて遊べるように配慮されています ・親子保育の日は狭く感じることがあるが、外遊びや2階のスペースを利用しながら行っている	
	②	職員の配置数は適切である	7	0	・基準より多く配置している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・玄関までバギーで入室することができる。2階を使用するときには職員がついて移動している ・段差が少ない	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	・小さい子が多いので、清掃は毎日丁寧に行っている ・口に入れた玩具などは別のカゴに集め混じらないようにしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	その日のうちに、職員間で反省を出し、話し合っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・評価表を基に保護者の意向の共有を行っています	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	2023年度実施し改善点を伝えている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	定期的な全員参加の職員会議で様々な研修を行っている 合同職員会議で研修をした後グループワークにより考えを深めている	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・利用開始時に必ずアセスメントを行い、保護者の要望を聞いている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	遊びの中で発達に即した支援を行っている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	話し合って決めた月案に基づいて行っている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	製作と身体活動のバランスや今の状況に合わせて考えている	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	0	・運動発達指導、個別相談や支援を行っている ・領域別に取り入れて行っている	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・書面にその日の活動、ホワイトボードで、担当、役割分担がわかるようにしている・1日の排泄、食事の席を表にして掲示・年齢、クラスに応じて職員の関わり方等確認している	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・反省会、振り返りを行っています	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・必ずその日のうちに記録したり、報告したりしている	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	・半年毎に見直しをしている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	必要に応じて連絡を取っている	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1		
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	申し送り書を希望があれば作成している。電話、訪問などで今の状況などを聞き共有している	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・現在は対象児童はいない	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0		
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	教室としてはないが、個人個人で未就園児会などに参加している	
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0		
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	0	交流会で意見交換をしたり、面談を通して伝えている		
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	年度初めに説明している		
㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・個人面談を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	・母子分離をしている・保護者の会と連携して保護者支援を行っている・勉強会、交流会などをして意見交換をしている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・その日の内に対応するようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	予定表の発行や活動内容を分かりやすくメールで伝えている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・同意書を貰っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・保護者が話し掛けやすい雰囲気にしたたり、話し合っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	・おやこまつりを開催した	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・職員会議などで、周知している・非常時の対応方法訓練、物品場所確認	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	カ離フブスは、地震・水害における訓練を行った。報告書も作成している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	フェイスシートにて確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	その都度保護者の方に確認しながら進めている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	・話し合っている・再発予防対策の徹底	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・研修、会議で話し合っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。